

令和2年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

令和2年6月9日



発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合

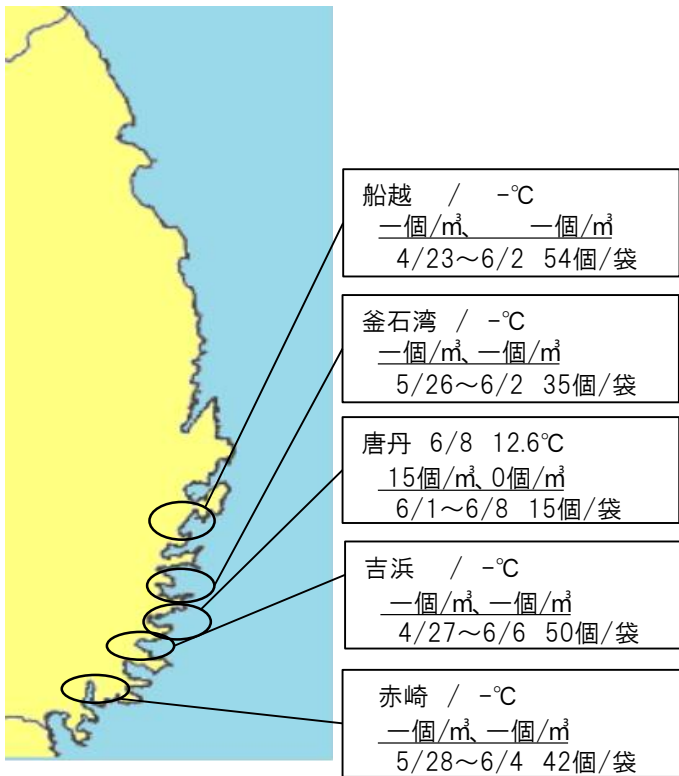
付着稚貝数は低調に推移しています。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は12.6℃で、透明度は11.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバは21個/m³出現しましたが、200μm以上の大型ラーバは見られませんでした。
- 唐丹湾の試験採苗器へは15個体（6/1～6/8）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち4個体（26%）が付着直後の稚貝でした。
 （※昨年同時期：208個/袋/週）
- その他の地区におけるホタテガイ付着稚貝数も少ない状況です。

< 宮城県の状況（6月3日発行ホタテガイ採苗通報（第7報）） >

- 付着稚貝が増加しました。
- 例年と比べラーバ及び付着稚貝が少ないです。



調査点	調査日	水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月17日頃に
 発行する予定です。

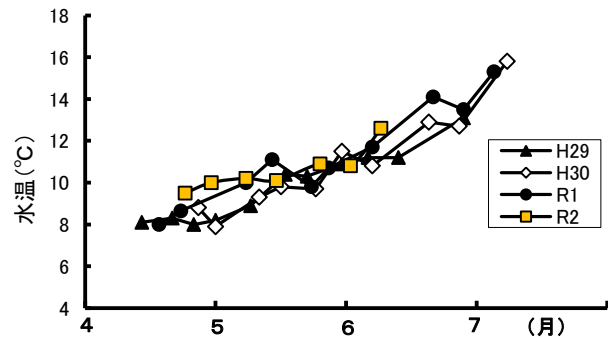


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

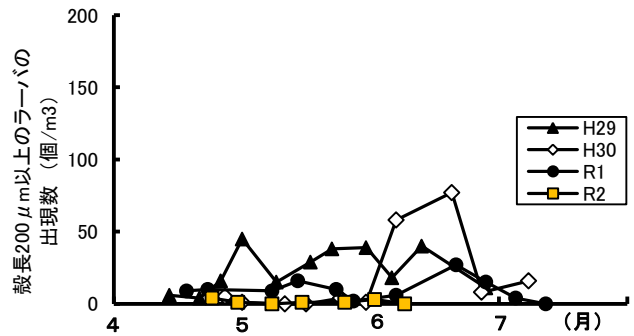


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

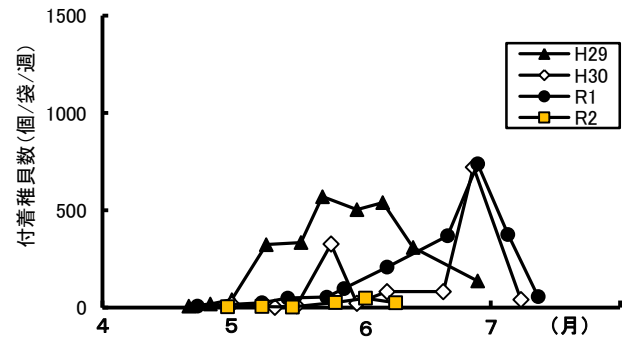


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数